

HP Operations Smart Plug-in for SAP

For HP Operations Manager for UNIX®

リリース ノート

ソフトウェア バージョン: 11.00/ 2008 年 10 月

このドキュメントは HP Operations Smart Plug-in for SAP (SPI for SAP) についての変更の概要を提供します。リリース ノートは、製品マニュアルやオンライン ヘルプに含まれていない重要な情報を含んでいます。

このバージョンの新機能
ドキュメントの更新情報
インストールについて
機能拡張と修正点
既知の問題、制限事項、および回避策
サポートについて
法律上のご注意

このバージョンの新機能

このバージョンの SPI for SAP には新機能、機能拡張、機能変更が含まれています。

- **SAP NetWeaver Web Application Server (J2EE) :** このバージョンの SPI for SAP では SAP NetWeaver Web Application Server の J2EE エンジンの動作状態を監視できます。新しいテンプレート群により、ご使用の SAP NetWeaver 環境での J2EE エンジンの動作状態とパフォーマンスの監視ができます。
- **Windows ノードの非特権ユーザーのサポート:** SPI for SAP は、Windows ノード上の非特権ユーザーをエージェント ユーザーとすることができるようになりました。
- **サポートする管理サーバー:** SPI for SAP の最新リリースでは HPOM for UNIX の次のバージョンをサポートします。: 8.30、8.29、および 8.28
- **レポート:** SPI for SAP の最新バージョンでは、HP Reporter を利用してレポートを作成できる新しいテンプレートがいくつか用意されています。

SPI for SAP は SAP NetWeaver Web Application Server J2EE エンジンの動作状態とパフォーマンスに関する以下のレポートを用意しています。

- 各ポート別のスレッドの使用率
- コネクション数
- メモリ消費量
- セッション ビュー
- リクエスト ビュー
- アプリケーション スレッドとシステム スレッドの比較
- アプリケーションとシステムの待ちタスクの比較
- **管理ノード用の新しいプラットフォーム:** SPI for SAP は、新たに次のプラットフォームを管理ノードとしてサポートします。

- オペレーティング システム: SPI for SAP は、SLES 10 および RHEL 5 ノード上にインストールされた SAP NetWeaver 環境をサポートします。
- SAP: このバージョンの SPI for SAP は SAP バージョン 7.1 (ABAP スタックのみ) をサポートします。
- HP Operation エージェント: このバージョンの SPI for SAP は 64-ビット HTTPS エージェントと連携することができます。

プラットフォームに関する詳細情報は、次のサイトで参照してください。

http://h20230.www2.hp.com/sc/support_matrices.jsp

ドキュメントの更新情報

このリリース ノート ドキュメントの初めに以下の識別情報があります。

- バージョン番号。ソフトウェアのバージョンを示します。
- 発行日。ドキュメントが更新されると変わります。

最新のアップデートのチェックやご使用中のドキュメントが最新版かどうかの確認には、次の Web サイトをご利用ください。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトは、HP Passport に登録してサインインする必要があります。HP Passport への登録は、次のサイトでできます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または HP Passport のログインページで **New users - please register** のリンクをクリックしてください。

また、適切な製品サポートに申し込みをいただくとアップデート版や新版を入手できます。詳細は弊社の営業担当者にお問合わせください。

注: PDF 形式のファイル (*.pdf) をご覧いただくには Adobe Reader のインストールが必要です。Adobe Reader をダウンロードするには以下の Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.adobe.com>

インストールについて

このバージョンの SPI for SAP では、ノードが HTTPS をサポートしている場合は、HTTPS エージェントのみを使用してください。DCE エージェントは、ノードが HTTPS をサポートしていない場合にのみ使用してください。

インストールの要件および SPI for SAP のインストール手順については、Adobe Acrobat (.pdf) 形式の『SPI for SAP インストールガイド』に記述されています。このドキュメントは、製品 DVD メディアの次のディレクトリに収録されています。

<DVD-Drive>/Documentation

インストール後は、ドキュメントは次のディレクトリに格納されます。

/opt/OV/paperdocs

『HP Operations Smart Plug-in for SAP インストール ガイド』の「SAP ライブラリのダウンロード」の項に従って必要な SAP ライブラリをダウンロードする前に、次の CR を参照してください。 [QXCR1000864051](#)
「SPI for SAP 用の SAP RFC SDK ライブラリの情報」

機能拡張と修正点

それぞれの機能拡張と修正点の詳細を表示するには、参照番号のリンクをクリックし、HP ソフトウェア サポート オンラインの Web サイトを参照してください。最初にリンクをクリックしたとき HP Passport の情報入力を要求されます。HP Passport のプロファイルの設定は、次の Web サイトでできます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

[QXCR1000716763](#): HostMapping の処理が不完全

[QXCR1000436921](#): 'Cross-Client Object Changes' が 'No changes to Repository Objects' に設定されていると r3monsec が失敗する

[QXCR1000433050](#): r3perflagent SYSUP_PERF のデータに下位互換性がない

[QXCR1000714677](#): 受動的ノードの r3mondisp が紛らわしいメッセージを生成する

[QXCR1000747132](#): r3monal が、正しい SID と 番号に対し正しい重要度をマッピングしない

[QXCR1000450154](#): r3perflagent が WLSUM_PERF 用のデータを収集しない

[QXCR1000448905](#): r3monjob JOB_MAX_RUN_TIME が MAX_RUNTIME の仕様と不整合

[QXCR1000454902](#): r3montra の ABAP プログラムでループし、CPU 時間を浪費する

[QXCR1000323874](#): r3monlck が MC/SG クラスタ ノードで CONFIG_DATA_ERROR で失敗する

[QXCR1000418692](#): r3mondmp が SAP 7.00 で誤ったノード名をレポートする

既知の問題、制限事項、および回避策

サービス設定ファイルを HPOM にアップロード

コマンド行から、サービス設定ファイルを HPOM にアップロードすると次のメッセージが表示される。

```
Converting deprecated old-style service file to XML ...(please use XML in future)
```

対策: このメッセージを無視します。

SAP GUI:

SPI for SAP で定義されるオペレータ起動アクションのほとんどで SAP GUI が必要となるにも関わらず、SAP GUI は SAP SPI インストール メディアの一部ではない問題。

対策: HPOM 管理サーバーおよび任意のリモート コンソールに SAP GUI バイナリをインストールします。SAP GUI バイナリは SAP 「Presentation」 CD に含まれています。

ユーザー モニタの値が SM04 の値と異なる

コレクタにより報告されるログイン ユーザー数が、SAP トランザクション SM04 に表示されるユーザー数と異なる。

対策: この相違は、コレクタが「itouser」をログインしたユーザーとして数えることが原因で発生します。このため、2つのユーザー数に相違が生じます。

ホストを2度設定するとメッセージが重複し、パフォーマンスが低下する

snapshot タイプのモニタが重複メッセージをメッセージブラウザに送信し、SPI for SAP のパフォーマンスが全体的に低下する。

対策: 管理ノードを、なんらかの設定ファイルで2度、入力していないかどうかチェックしてください。たとえば、一度は短いホスト名 (sapsystem)、もう一度は完全修飾のホスト名 (sapsystem.domain.company.com) で入力している、などが考えられます。2度、入力している場合、モニタのバイナリは、モニタを呼び出すたびに SAP システムとの接続を2つオープンします。その結果、多くのリソースを消費し、メッセージを2度、送ってしまいます。各システムは設定ファイル上で1度のみ設定しなければならず、また、完全修飾名で指定することをお勧めします。

モニタのパフォーマンスが悪い

SPI for SAP モニタが SAP システムから情報を取得するのに時間がかかりすぎる。

対策: 設定ファイルで、どの程度の頻度で CP (Contains Pattern) オプションを使っているかチェックしてください。この CP オプションは時間とシステム リソースの双方を消費します。CP オプションは可能な限り EQ オペレーションで代用してください。代用が不可能である場合は、完全修飾されていない CP オプション (例: CP*) の使用は避けてください。代わりに、1つの文字列パターンを使って CP オプションを修飾します (例: CP MY_JOB*)。

SPI for SAP サービスがエラー 534 を報告する

一部の SPI for SAP レポートがない、または空のため、「ERROR 534」というメッセージが HP Reporter のステータス ペインに表示される。

対策: この問題では2つの対策が考えられます。レポート データが見つからない場合: HP Reporter の gather-data コマンドを再度実行してみてください。

DBINFO_PERF パフォーマンス モニタが実行されているインスタンスを持つシステムが SAP R/3 レポート グループに存在しない場合は、DBINFO_PERF モニタにより収集されたデータ (以下に示します) を使用するすべての SPI for SAP サービス レポートを、SAP R/3 レポート グループから削除する必要があります。

- SAP R/3 Database Performance
- SAP R/3 Database Quality

パフォーマンス メトリック:WLSUM_PERF および DOCTSTAT

SPI for SAP の新しいパフォーマンス モニタである DOCTSTAT および WLSUM_PERF がデータを収集しない。

対策: SAP パフォーマンス コンポーネントから有用なデータを収集するためには、SAP レポート RSCOLL00 を SAP R/3 システム で1時間に1回実行するようにスケジューリングする必要があります。SAP コンポーネントの標準的なレポートやジョブのスケジューリング方法の詳細は、SAP OSS note 16083 を参照してください。

パフォーマンス モニタから統計レコードが取得できない

SPI for SAP パフォーマンス モニタから提供される統計レコードが存在しない。

対策: すべてのログイン情報を r3itosap.cfg ファイルに追加した後、SAP システムに r3perfstat.cfg の設定が記述されていることを確認してください。r3itosap.cfg ファイルに保存した新しい設定を SAP システムに書き込むには、適切な SAP システムをナビゲーション ペインで選択し、[統計レコード書き込み] アプリケーションを起動します。これは、[SAP R/3 Admin] アプリケーション グループにあります。

サービス検出が、Microsoft Windows 管理ノード上の SAP インスタンスの検出に失敗する

サービス検出ツール r3sd がシステム アカウントで実行され、SAP のインストール ディレクトリが "¥¥server ..." のように UNC 表記で指定されている場合、Microsoft Windows を実行している管理ノードの SAP インスタンスが検出されず、R3 Info ツールは実行を完了して何も出力しない。

対策: 環境変数 SAPOPC_SAPPROFILEDIR を使用して SAP インストールへのローカルパスを指定するか (SAP センtral インスタンスでのみ可能)、HPOM エージェントを別のユーザー アカウントで実行するように設定して、UNC 表記を使用してネットワークパスにアクセスできるようにします。

00:00 から 01:00 までの時間帯のデータがレポートに表示されない

SPI for SAP パフォーマンス モニタ WLSUM_PERF によって収集されたデータを使用するワークロード レポートおよびユーザー レポートに、深夜 00:00 から 01:00 までの期間の結果が表示されない。

対策: これは、SAP と SPI for SAP で時間の処理方法が異なるためです。レポートの開始時間を 00:00 から 01:00 の間にスケジュールすることは避け、01:30 以降にレポートが実行されるように設定してください。

SPI for SAP WLSUM レポートで、連続的なデータに不規則な値が示される

SPI for SAP WLSUM レポートで、本来は連続的であるはずのデータに不規則な値が示される。たとえば、SAP システムのレポートでは、通常、1 時間あたり約 1000 のダイアログ ステップが示されますが、ある 1 時間にステップがまったく示されず、次の 1 時間では通常の倍にあたる 2000 のステップが示されるという現象です。

対策: WLSUM モニタのデータ収集は、SAP 内部ジョブ "COLLECTOR_FOR_PERFORMANCEMONITOR" に基づいています。このジョブが正しく実行されていない場合、または正しい時間に実行されていない場合、通常は WLSUM_PERF モニタの実行によって収集されるデータが、SPI for SAP パフォーマンス モニタの次の実行でのみ取り出されます。このため、データが不正な場所に示されます。SPI for SAP ジョブ モニタ r3monjob を使用すると、SAP の内部パフォーマンス コレクタ ジョブ "COLLECTOR_FOR_PERFORMANCEMONITOR" の動作を監視することができます。

r3monjob で複数のしきい値が許可されない

r3monjob に対して、バッチ ジョブの実行時間が 5 分を超過した場合に注意域メッセージを送信し、同じバッチ ジョブの実行時間が 10 分を超過した場合に危険域メッセージを送信する、といった設定を行うことができない。

対策: SPI for SAP の最新バージョンでは、特定のバッチ ジョブに対し、同一のアラートタイプに複数のしきい値を設定することはできません。

r3monpro が r3status の履歴ファイルを必要とする。

SAP プロセス モニタ r3monpro が監視対象の SAP システムのステータスを判定できない。その結果、SAP インスタンスが利用可能とみなし、メッセージの抑制を行わない。

対策: r3monpro は、自身の履歴ファイル r3monpro.his に加えて、r3status の履歴ファイル r3status.his (監視対象の SAP インスタンスが利用可能かを判断するために使用) の場所を知る必要があります。どちらの履歴ファイルも、r3monpro の設定ファイル r3monpro.cfg 内で HistoryPath キーワードを使用して定義した場所になければなりません。r3monpro は r3status.his 履歴ファイルが見つからない場合、監視対象の SAP インスタンスを利用可能とみなし、メッセージの抑制を行いません。履歴ファイル r3monpro.his および r3status.his を同じ場所に配置し、この場所を r3monpro モニタに必ず知らせてください。モニタの履歴ファイルの場所は、環境変数 SAPOPC_HISTORYPATH またはキーワード HistoryPath[Unix|Windows|AIX] を使用して定義できます。

サポートについて

次の HP Software サポート Web サイトを参照してください。

www.hp.com/go/hpsoftwaresupport

HP が提供する製品、サービス、サポートに関する詳細情報をご覧ください。

HP ソフトウェア サポート オンラインではセルフソルブ機能を提供しています。ビジネスを管理するのに必要な相互技術サポートツールにアクセスする、迅速で効果的な方法を提供します。サポートカスタマとして、サポートサイトを通じて以下の有用な情報を得ることができます。

- ダウンロード可能なドキュメント
- トラブルシューティング情報
- 障害情報
- トレーニング情報
- サポート プログラム情報

一部のコンテンツでは HP Passport への登録やサービス契約 ID が必要となります。アクセス レベルに関する詳細は、次のページをご参照ください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Passport ID の登録は以下の URL をご覧ください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

法律上のご注意

©Copyright 1998 - 2008 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Confidential computer software. Valid license from HP required for possession, use or copying. Consistent with FAR 12.211 and 12.212, Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items are licensed to the U.S. Government under vendor's standard commercial license.

Hewlett-Packard 社は、この文書に関して市場性および特殊目的への適合性の暗黙の保証を含む一切の保証を行わないものとします。

Hewlett-Packard 社は、この文書内の欠陥に対して、およびこの文書の提供、実行、または使用に関連する直接損害、間接損害、実損害、偶発損害、および結果損害に対して責任を負わないものとします。当社の事前の書面による承諾なく、本書のコピー、改変、または別の言語への翻訳を行うことは禁じられています。

この情報は予告なしに変更されることがあります。

他社のライセンス契約については、製品のインストール用 DVD-ROM の spi-thirdparty-license-agreements¥unzip ディレクトリおよび spi-thirdparty-license-agreements¥xerces ディレクトリを参照してください。

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Java™ は、米国における Sun Microsystems, Inc. の商標です。

Microsoft®、Windows®は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Oracle は、Oracle Corporation とその子会社の登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。